

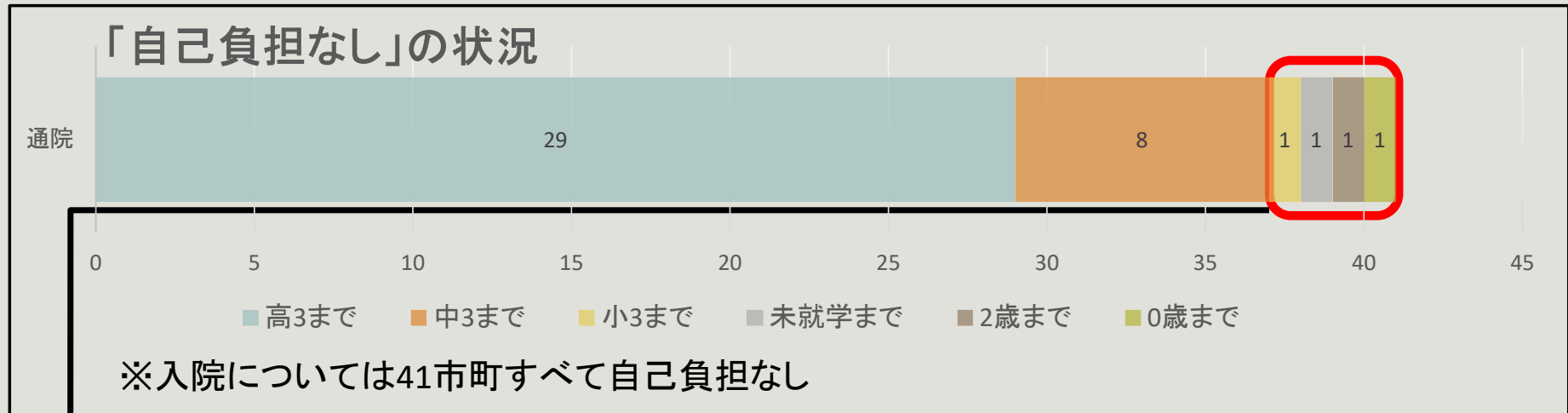
【参考資料3】

乳幼児・こども医療費助成 について

県内各市町(41市町)の状況

【前提】

論点明確化のため、所得制限の有無は考慮せず、自己負担額の設定のみを検討する。



【中3未満に対して自己負担がある市町の制度詳細(4市)】

- 神戸市 3歳～高3に対し、1日400円(2割負担)、月2回まで
- 尼崎市 小1～中3の低所得世帯以外に対し、1日400円、月2回まで
高1～高3の低所得世帯以外に対し、1日800円、月2回まで
- 芦屋市 1歳～中3の市民税所得割額23.5万円以上と高1～高3に対し、1日800円、月2回まで
- 豊岡市 小4～中3の市民税所得割額が12万円～23.5万円未満に対し、定率2割(月額300円上限)

全国の市区町村(1,741市区町村)の状況

【医療費助成の状況】 ※こどもに係る医療費の助成についての調査(こども家庭庁)より

内容		通院		入院	
		R7(2025)	R6(2024)	R7(2025)	R6(2024)
所得制限	なし	1,692(97%)	1,645(94%)	1,693(97%)	1,643(94%)
	あり	49(3%)	96(6%)	48(3%)	98(6%)
自己負担	なし	1,319(76%)	1,266(73%)	1,410(81%)	1,358(78%)
	あり	422(24%)	475(27%)	331(19%)	383(22%)

【医療費の推移】 ※国民医療費の概況(厚生労働省)より

年度	0歳~14歳の総額	1人あたり医療費	備考
R5(2023)	27,688億円	195.4千円	
R4(2022)	26,359億円	181.7千円	
R3(2021)	24,178億円	163.5千円	行動制限緩和
R2(2020)	21,056億円	140.1千円	コロナ過の受診控え
R1(2019)	24,987億円	164.3千円	

自己負担額設定の年間シミュレーション

【前提】

- 過剰な医療費を抑制する観点から、「自己負担なし」は全世代で設定しない。
- 設定する自己負担額は、制度を複雑にせず市民にわかりやすく、事務効率性も考慮し、全世代一律とする。
- 低所得者への配慮については、身体障害4級見直しとの整合の観点から、県制度と同程度とする。

自己負担設定	医療費助成総額	自己負担総額	1人あたり自己負担額 受給者見込数: 35,355人	削減効果額
800円(低所得600円)	693,000千円	443,000千円	13千円	329,000千円
600円(低所得400円)	789,000千円	347,000千円	10千円	233,000千円
400円(低所得同額)	896,000千円	240,000千円	7千円	126,000千円

【根拠】

- 800円(低所得600円) 県制度における乳幼児医療費助成を準用(こども医療以降も継続)
- 600円(低所得400円) 県制度で最も低額となる、(高齢)障害者(児)医療費助成を準用
- 400円(低所得同額) 県制度での下限値を準用かつ、神戸市・尼崎市の設定額を参考